

森

の通信



自然と歴史の大発見
宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2014年1月6日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199



ティセラ「日本図」(大分市歴史資料館)



天保年間飢肥城下図写
(日南市教育委員会)



高鍋藩領分絵図(新納院)
(石井正敏氏)



伊能大図185号
(写真は海上保安庁海洋情報部)

日向諸藩の城下図を展示。飢肥藩については、承応年間と天保年間の城下図を並べて展示!

当館が所蔵する正保日向国絵図写を初公開!
このほか県内に残る国絵図を一挙展示!

伊能図や延岡藩・飢肥藩が伊能測量隊に提出した絵図、近世に作成された日本図を紹介!

特別展

城下図・国絵図・伊能図など江戸時代に作られた絵図を一挙公開!

絵図で歩く日向国

城下図・国絵図、そして伊能図

無料

平成26年

1/25(土)

▶ 3/2(日)

標本講座「チリメンモンスターをさがそう！」

チリメンモンスターとは何だか分かりますか？ チリメンモンスターとは、チリメンジャコに混じっている海にすむ小さな生きものたちのことをいいます。

どんな生きものがあるかというと、例えば、アジやサバの稚魚やタコ・イカの子ども、カニのゾエア・メガロパ幼生など様々です。中には、タツノオトシゴやコバンザメといった、なかなかお目にかかれないレア(珍しい)な生きものたちに出遭うこともあります。

当館では、平成24年度から講座「チリメンモンスターをさがそう」を、夏休みの標本講座として実施しています。見つけ出したチリメンモンスターをカードに貼り付けて自分だけのオリジナル図鑑を作成します。

宮崎の海に生息する生きものを勉強する絶好の機会ということもあり、博物館人気講座の1つとなっています。あなたもぜひ講座に参加して、レアなチリメンモンスターをゲットしよう！ (山田)



自然史展示室展示紹介

湿原の自然

当館1階自然史展示室には「^{しづん}湿原の自然」というコーナーがあります。自然豊かな宮崎県には、貴重な自然環境である湿原がいくつかあります。一見荒地にも見ることがある湿原は、常にきれいな水が流れ込むため、土に含まれる栄養分が少なく、生物にとっては特殊な環境の1つです。そのため湿原で見られる植物は貴重なものも少なくありません。

このコーナーでは、捕らえた昆虫を栄養分としている食虫植物の「モウセンゴケ類」のレプリカや、東海・近畿地方と宮崎県にしか分布していない日本の固有種「ヘビノボラズ」のレプリカなどを使ったジオラマで川南湿原を再現しています。その他、食虫植物のクイズや、大きさが1円玉ほどしかない「ハッチョウトンボ」などの湿原で見られる昆虫標本も展示しています。(岩切)



ヘビノボラズのレプリカ



ハッチョウトンボの標本
ナガバノイシモチソウのレプリカ

川南湿原を再現したジオラマ



すごいぞ宮崎の古墳時代のよろいとかぶと

えびの市島内地下式横穴墓群から出土した武器や武具などの副葬品1029点が、平成24年9月に国の重要文化財に指定されました。遺跡からの出土品で県内に所在している考古資料としては初めての指定となります。点数の多さはもちろん、金属製品の保存状態の良さが高く評価されており、特に短甲(よろい)や青からは古墳時代の製作技術を探ることが出来ます。これも、遺体や副葬品が納められている玄室が地下に掘られているという地下式横穴墓独特の構造のため土に埋まらず発見されるからです。

当館にもえびの市上江の小木原地下式横穴墓に副葬されていた短甲(右写真)が展示してあります。島内地下式横穴墓群出土の短甲に引けをとらない保存状態で、鉄板を留める鉸や表面に付着した布の残がいなどがしっかりと確認できます。(永友)



えびの市小木原地下式横穴墓3号出土短甲

収

蔵資料紹介

動物骨格標本「コウベモグラ」



大きく発達し、鋭い爪があります。骨格標本を見ると発達した爪がはっきりとわかります。よく見ると親指の外側に鎌のような形をした骨があるのがわかります、これは種子骨と呼ばれる鎌状の骨で、手のひらの面積を大きくし、土を掘る力を強くしているといわれています。骨を見ることで体のつくりや生活の様子がわかることがよくあります。

当館では、ほ乳類や鳥類・は虫類など多くの動物の骨格標本を収蔵しています。(福島)

コウベモグラは、トガリネズミ目モグラ科に属する小型のほ乳類で、西日本に多く生息するモグラです。宮崎県でも平地から山地まで広く生息しています。

体長は15cm前後で、2cmほどの短い尾があります。土の中にトンネルを掘って生活し、ミミズや昆虫をエサにしています。前あしは穴を掘るために



コウベモグラの前あしの骨

利用者からの問い合わせ



自然史展示室の
幸ペオン隕石

隕石を見つけた!?

たものです。隕石かどうかを判断するときには、まず表面が真っ黒で、指で押したようなくぼみがあるかどうかを調べます。これは地球大気との摩擦熱によって隕石表面が溶けた証拠です。表面だけで判断できないときは内部構造を調べます。ここからは専門家による分析が必要です。例えば、鉄でできている鉄隕石の場合は、断面にウイドマンシュテッテン構造という網目状の模様がみられます。日本でこれまでに発見された隕石は50個で、宮崎県内で見つかったことはありません。隕石を見つけるのは宝くじに当たるよりも難しいかもしれませんね。(濱田)

隕

石に関する問い合わせがときどき寄せられます。隕石は小惑星などの天体の一部が地球に落下し



鉄隕石のウイドマンシュテッテン構造

展示解説員の声

鳥の鳴声コーナー

当 館1階自然史展示室の野鳥の鳴き声コーナーでは、20種類の野鳥の鳴き声を聞くことができます。夏鳥と旅鳥、冬鳥と留鳥の2カ所に分けられ、受話器をもってスイッチを押すと声が聞こえてきます。

鳥の鳴き声は、普段の鳴き声である「地鳴き」と、繁殖期のオスが縄張り宣言と求愛のために鳴く「さえずり」に分けられます。ウグイスが鳴き始めると春が、ホトトギスが鳴き始めると夏が、モズが鳴き始めると秋が来たなど、野鳥の鳴き声で季節を感じることも出来ます。是非、耳を澄まして季節を感じてみてください。(姫野)



小道愛称決定「杜の小道」

本年度秋に開催した特別展「みやざき発掘100年～いにしへの『道』と交流～」にちなみ、当館の南側に沿って駐車場から民家園に通じる小道の愛称を募集しました。183件の応募があり、宮崎市の黒瀬勝さんの「杜もりの小道」に決定しました。

みどりに囲まれ木漏れ日の中の「杜の小道」を散歩されませんか。



博物館ホームページの紹介

当館ではホームページを開設し、博物館の利用に関すること、展示会の案内、講座の紹介、これまでに寄せられた質問に対する答えなどを掲載しています。展示室の「解説シート」や「森の通信」などはダウンロードすることができます。博物館職員の日々の様子などを書いた「職員ブログ」もありますので、ぜひアクセスしてみてください。



展示会のお知らせ

家族 いのち、つなげて

大滝博子 創作人形の世界

～作者の言葉と書で綴る～



会 期／平成26年3月19日(水)～4月14日(月)

休館日／毎週火曜日

会 場／博物館2階 特別展示室

入場料／一般 600円、小・中学生 400円、未就学児 無料

検索 宮崎県総合博物館

博物館講座のお知らせ

2/9 日曜日 **化石のレプリカをつくろう**

化石のレプリカについて学習し、実物化石の型からの作成を体験します。

時間 10:00～12:00
対象 小・中・高・一般
場所 研修室2
定員 25名

募集期間
1月12日(日)～1月26日(日)



2/16 日曜日 **みやざき発掘100年物語⑤ 「考古学に何ができるか」**
—これからの遺跡の活用—

考古学が私たちの未来や社会の発展にいかにか寄与できるか。遺跡の活用を通して考古学の役割と未来を展望します。

時間 13:30～15:00
対象 高・一般
場所 研修室1
定員 80名(先着順)

※事前申し込み不要



3/2 日曜日 **飛んだね! クルクルたねづくり**

植物の種子散布について学習し、飛ぶたねづくりをします。

時間 10:00～12:00
対象 小・中
場所 研修室2
定員 20名

募集期間
2月2日(日)～2月16日(日)



3/9 日曜日 **水晶と鉱物のふしぎ**

顕微鏡で小さな鉱物を観察したり、美しくふしぎな鉱物の世界にふれます。

時間 10:00～12:00
対象 小(高学年以上)・中・高・一般
場所 研修室1
定員 30名

募集期間
2月9日(日)～2月23日(日)



観覧時間

休館日

観覧時間

9:00～17:00

(入館は16:30まで)

休館日

毎週火曜日

(火曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日です)

館内メンテナンス期間

1月20日(月)～23日(木)

(民家園は開園しています)